



ヴェルフエンヴェングより

早いものでWW滞在も終わろうとしています。文章や、写真では伝えられない事が多かったです。

例えば、綺麗な緑の牧草地も、刈り取り後、牛糞堆肥を散布します。そのニオイやハエの量は、やはり体験しないと分らない事だと思えます。

1年を通して伝えたかった事は、時間の流れや、人生の楽しみ方です。それが上手く伝わって、読んだ方がWWに行ってみたいな、と思ってくれば嬉しいです。

有り難うございました。《大出見》

まめってえ鬼無里 今後のスケジュール

- ・8月6日～21日おでやれ鬼無里 夏
- ・8月7日(日)きなさのごはん夏のランチ会

8月イベント(他団体主催)※は要申し込み

- 8/21 ※奥裾花自然環境学習会
＜深緑のブナ林を歩く＞
- 8/28 きなさ市＜冷汁のふるまいあり＞
- 8/28 ※料理講習会 ￥500
＜おじ様の料理教室＞先着 20名 10:00～

～きのこの駒打ち体験～ 中学生の感想

ドリルで穴をあけるのは、大変で手がすごく痛かったです。でも最初から最後まで自分でやると、達成感があるし、きちんと菌がまわっておいしいきのこができるといいです。

もっと森を大切にしていかなければいけないと思ったし、地球温暖化が進んでいく中で、自分でも何かできればいいなと思った。

キノコを作るということはあまりできないから貴重な体験だった。キノコができるまで、細かい作業がたくさんあって大変だなと思った。食べ物をいただく時にはしっかり感謝して食べたいと思った。

鬼無里のような山の近くに住んでいることがとても良い事だとわかってとても嬉しかった。森の役割や木の大切さがわかったような気がする。駒打ちはとても楽しかった。また機会があったらやりたい。

私たちもとても楽しかったです。またやりましょう!!「鬼無里に住んでいて良かった」とみんなが思えたら、鬼無里はもっともっと素敵な所になるでしょうね♪

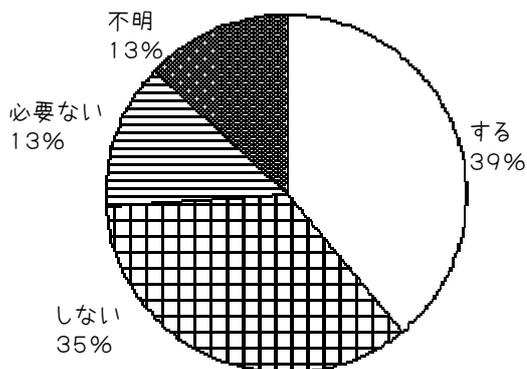
鬼無里サポーター 高木朗義<岐阜大教授>の「アンケートを読み解く!!」

ほとんどの方がマイカーか大型バスで鬼無里を訪れていますが、「シャトルバスがあれば利用しますか?」という質問に対して、約40%の方が利用すると回答され、運賃として払ってもいい金額も平均で580円となりました。

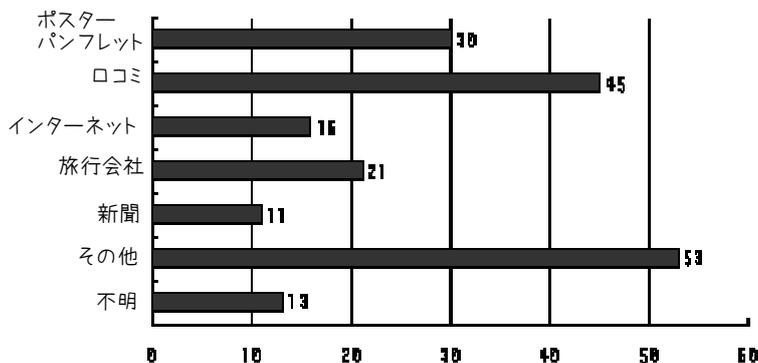
(シャトルバス…鬼無里の中心地⇄奥裾花自然園)

マイカーや大型バスより不便なことは間違いありませんので、観光客の方々もエコに旅行したいと思っている人が少なくないということがわかりました。このことはいろいろな可能性を秘めていますね。

シャトルバスがあれば利用しますか?



鬼無里を何で知りましたか?



それから、もう1つ興味深かったことは、鬼無里を知ったきっかけで「ロコミ」がトップだったことです。鬼無里を訪れたり、興味を持った人から、ロコミで広がるのですね。若者のロコミは今やツイッターです。東日本大震災でもツイッターが活躍したと言われていいますので、鬼無里のアピールにツイッターなども取り入れると面白いかもしれませんね。

<いろは堂ギャラリー情報> <http://www.irohado.com/> 火曜日定休 5・8・10月は無休

2Fギャラリー 7/13～8/1 古谷公一 陶芸 8/3～8/22 世間瀬七生子 水墨画 8/24～9/12 千坂経悦 陶芸
1Fサロン <7月>木村皆子 手織り・染色 <8月>樋熊 鬼瓦展(陶芸)